

東芝エレベータ(株)上野原事業所 サイトレポート情報

所在地 : 山梨県上野原市上野原 8 1 5 4 - 1 0

敷地面積 : 3 6 , 2 7 2 m²、建家面積 : 1 2 , 3 1 2 m²、緑化率 2 7 . 2 %

設立 : 1 9 9 5 年 4 月、従業員 : 7 0 人 (2 0 0 9 年 4 月現在)

主要製品 : エレベータ制御装置製造

I S O 1 4 0 0 1 認証取得 : 1 9 9 8 年 8 月、最新更新年月 : 2 0 0 7 年 8 月
(I S O 認証番号 : E C 9 8 J 1 0 4 2)



サイトの紹介

上野原事業者は、1995年4月に工場を移動し、1996年10月に事務・研修棟を移動しました。2002年8月に制御装置製造部門が府中工場から移転、2003年10月に信頼性評価センターが発足し現在に至っています。



2008年度の環境の主な取組み

◎ 08年度 (上) 環境推進計画 (事業プロセスの革新)

☆地球温暖化の防止

- ・エネルギー起源 (電力使用) CO2排出量の削減

☆資源の有効活用

- ・廃棄物総発生量原単位の削減
- ・廃棄物ゼロエミッション達成拠点
- ・水受入量原単位の削減

☆部門設定活動

- ・リユース事業拡大

製品、環境技術開発紹介

◎環境調和型製品の創出・提供

☆リユース事業の拡大

- ・基板リユースの定着
- ・ユニット品のリユース

環境コミュニケーションの紹介

☆地域の中学校の通学にスクールバスを提供

- * 当社従業員の送迎用バスを地域の中学生のスクールバスとして提供しています。

☆上野原事業所周辺の清掃活動

- * 2008年度は計8回実施した。

☆ペットボトルのキャップ収集

- * 2008年度計71.8kgを収集した。

環境基本方針

上野原事業所は、東芝グループ環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、「緑の地球を自分たちで守ろう」をスローガンとして、「東芝エレベータグループ環境ビジョン2015」のもと、「東芝エレベータグループ環境ボランティアプラン」を策定し、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会をつくることに誠意を持って実行します。また、上野原事業所においては、リユースの適用拡大及び廃棄物の全社員参画による分別を徹底し廃棄物の削減と資源ごみのリサイクルを推進します。

◆環境経営の推進

1. 環境への取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、経済と調和させた環境活動を上野原事業所全社員が一丸となって推進します。
2. 昇降機の開発・設計・製造の活動が環境に与える影響を常に的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、更に定期的に見直しを行い上野原事業所全社員が一丸となって環境活動に努め、環境マネジメントシステムの継続的な改善及び環境負荷の低減、汚染の防止を推進します。
3. 当社が行う事業活動・製品・サービスに関わる環境側面に関する法令、協定及び当社が同意した業界等の行動規範を遵守し、かつ当社の自主基準を制定し一層の環境活動に取り組みます。
4. 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
5. 環境に関する教育及び広報活動を実施し、上野原事業所全社員に環境活動の理解と意識向上を図ります。

◆環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

1. 地球資源の有限性を認識し、製品及び事業プロセスの両面から環境調和型製品の開発・製造・販売及び採用、提供と環境調和型作業に努めます。
2. 製品のライフサイクルを通して、環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。(製品環境効率の向上)
 - ① 製品の環境効率向上
 - ② Excellent ECPの創出
 - ③ 特定化学物質の全廃
 - ④ エコプロダクツによるCO2削減
3. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などのすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。(事業プロセスの革新)
 - ① エネルギー起源及び物流に伴うCO2排出量の削減
 - ② 廃棄物総発生量の抑制及び廃棄物ゼロエミッションの達成
 - ③ 水受入量の削減
 - ④ 大気・水域への規制化学物質総排出量の削減

◆地球内企業として

1. 関係会社、ビジネスパートナー会社へ指導、支援を行い、理解と協力を求めるとともに地域・社会との協調連帯により環境活動を通じて社会に貢献します。
2. 相互理解の促進のために、利害関係者に対して環境情報の開示とコミュニケーションを積極的に行います。

この環境基本方針は、関係会社及びビジネスパートナー会社の社員を
含む全従業員に周知するとともに一般の人にも公表します

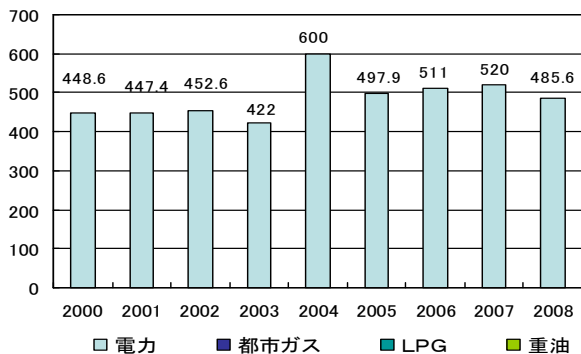
2009年4月1日

東芝エレベータ株式会社
上野原事業所長

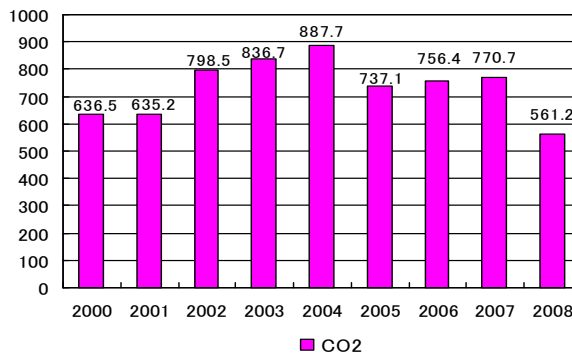
田巻 尚芝

環境負荷データ

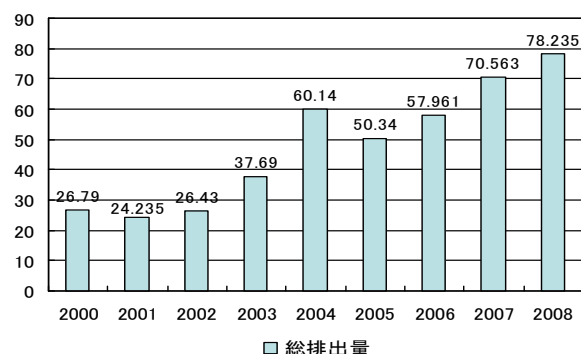
エネルギー使用量(単位:KL)



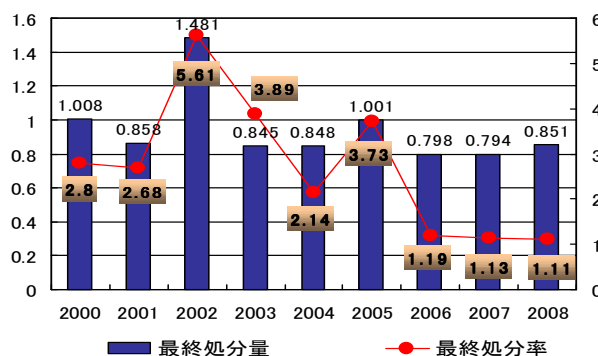
CO2排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

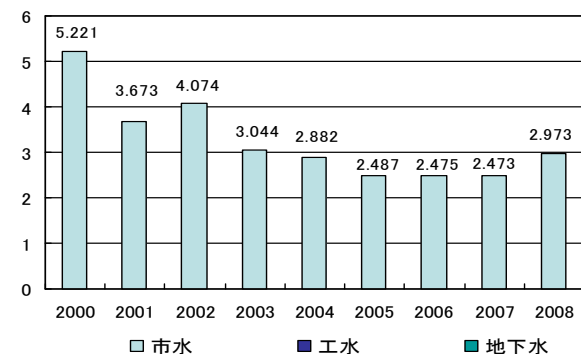


廃棄物最終処分量(単位:トン)と最終処分率(単位:%)

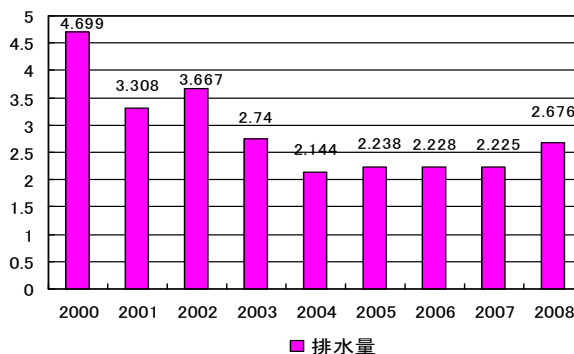


主な廃物名: 酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

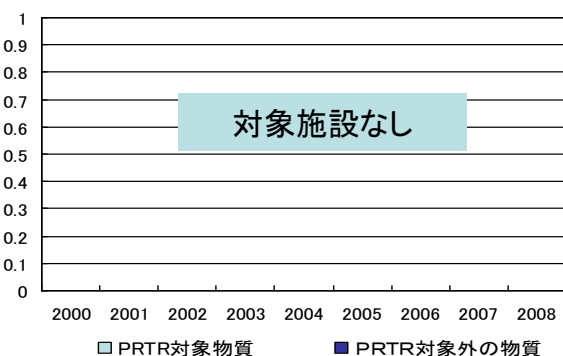
水の使用量(単位:千m³)



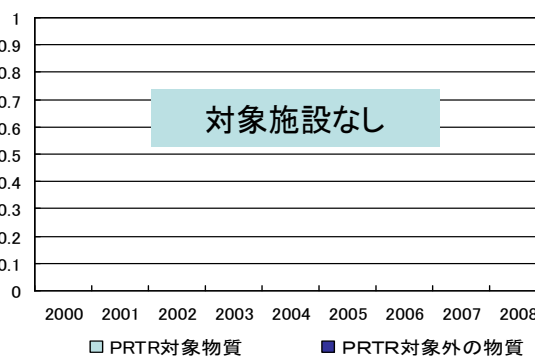
排水量(単位:千m³)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移(トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移(トン)



主な化学物質: (対象外)

遵法管理状況

大気測定結果(対象施設なし)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

排水測定結果(主な測定結果)(対象処理施設なし・生活雑排水測定、大月下水処理施設～桂川へ放流)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0～9.0(協定値)	5.0～9.0	7.2	年2回
BOD(mg/ℓ)	600(協定値)	600未満	58	年2回
COD(mg/ℓ)	300(協定値)	300未満	56	年2回
SS(mg/ℓ)	600(協定値)	600未満	98	年2回
窒素(mg/ℓ)	20(瀬戸内法上乘せ基準)	不検出	不検出	不検出
フッ素(mg/ℓ)	15(水濁法)	15	0.1未満	年2回

騒音・振動測定結果(特定施設(騒音、振動対象施設なし))

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外

その他測定結果(下水道法:主な測定結果(対象施設なし))

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし